

座禪石

指東庵から西にさらに少し進むと、岩で囲まれた小さなエリアがある。これは座禪石と呼ばれている。将軍を含む禪宗の信者たちがここに座り、座禪を組んだ。夢窓国師もここで座禪を組んだとされており、建設作業中も彼はここに座り、庭を眺め、助手たちに指示を出していたという。

ここに集まってくる湧き水は龍淵水と呼ばれ、座禪を行う前の象徴的な清めに使われる。これは、茶室への入り口に設置される蹲の原型であるとされている。